

2026年 秋冬公開講座 シラバス

項目	入力欄
科目分野	3. 人間・社会 （歴史・文学・政治・経済等）
昼夜	夜
講義／実習	講義
講座開始日	1/7
講座最終日	3/4
講座実施回数	6回
講座の形態（対面、オンラインなどの別）	1.対面
曜日	木
時間数	90分
時間帯	18:00 ～ 19:30
担当教員	依岡隆児
担当教員について （所属・職名・自己PR等）	徳島大学総合科学部 教授 ギュンター・グラス研究、独文学・比較文学が専門、板東俘虜収容所研究もしています。新聞で「読書のススメ」を連載しておりました。
講座の目的	徳島を描いた作品をテーマごとに取り上げ、理解を深めていきます。作品は海野十三「三人の双生児」、中村彰彦『二つの山河』、吉川英治『鳴門秘帖』、宇野千代「人形師天狗屋久吉」、中野好夫『主人公のいない自伝～ある城下市での回想』、森内俊雄「梨の花の咲く町」など。
講座の概要	毎回、徳島を描いた作品を、「ふるさと徳島」「外からみた徳島」「戦争と徳島」といったテーマで、取り上げ、その一節を読みます。取り上げる作品は、海野十三「三人の双生児」、中村彰彦『二つの山河』、吉川英治『鳴門秘帖』、宇野千代「人形師天狗屋久吉」、中野好夫『主人公のいない自伝～ある城下市での回想』、森内俊雄「梨の花の咲く町」など。
キーワード	文学、作品講読、徳島の文学
到達目標	文学の教養を高めること。本を通したコミュニケーションを実践すること。
講座の計画	
テキスト	依岡隆児『新・読書のススメ』徳島新聞社、2022年、1,000円（初日に直接販売）
修了証書発行基準	開講された全日程の7割以上の出席
受講者へのメッセージ	徳島を描いた作品に出会い、読書を愉しみながら、徳島を再発見しましょう。
備考	